



和歌山市立宮北小学校
学校だより 令和7年3月号



今年度最後の参観・懇談ありがとうございました

2月14日（金）に今年度最後の授業参観・懇談を行いました。どの学級も今年一年の成長を発表したり、自分の思いを伝えたりする内容で、ドキドキの緊張感と大きな拍手が教室に響いていました。クラスの一体感や一人一人ががんばる姿から保護者の皆様に子供たちの思いが伝わり、きっと胸を打たれたことと思います。アイデアを考えたり練習をしたり、リハーサルをしたりして、当日までいろいろな準備をしている様子を知っていたので、みんなの発表が成功してほしいなと思っていました。各教室を見て回りましたが、どの教室も友達、先生、おうちの方々に見守られ、一人一人の発表があたたかいムードで進められていました。

保護者の皆様におかれましてはお忙しいところ多数のご出席をいただき、お礼申し上げます。懇談では、4月ごろの様子と最近の様子を比べたお話や、変化したことやできるようになったこと等を振り返ったりして、今年度の成長についてお話ができたと思っています。ありがとうございました。

今年度も残すところあとわずかとなりました。学年のまとめの時期となり、6年生は卒業までカウントダウンに入りました。残りの日々が思い出多き素敵なものになるよう、大切に過ごしてほしいと思います。

学校長 西井 恵美子



一人一人の成長、思いや願いが伝わる参観授業でした😊



6年生を送る集会 ～みんなの思いがあふれていました～

2月28日（金）に6年生を送る集会が行われました。6年生への気持ちを込めた歌や言葉のプレゼント、6年生からの思いが詰まった言葉や演奏が発表され、体育館はとてもあたたかな雰囲気になっていました。6年生に向けてお礼の気持ちやお祝いする思いを一生懸命に伝えようとする1～5年生の姿、それをしっかり受け取っている6年生の姿、全部素敵で、見ていて胸が一杯になりました。宮北小学校はみんなが心でつながっていて、それが一年一年積み重ねられ、次に伝え、続いていくという伝統が息づいています。6年生の存在は本当に大きいです。最高の集会でした。



部素敵で、見ていて胸が一杯になりました。宮北小学校はみんなが心でつながっていて、それが一年一年積み重ねられ、次に伝え、続いていくという伝統が息づいています。6年生の存在は本当に大きいです。最高の集会でした。



【お知らせ】北側の校舎が生まれ変わりました ～外壁工事終了～

10月中旬から行われていた外壁工事が無事に終わり、きれいに生まれ変わった校舎がお目見えしました。美しい白い壁に一本の藤色のラインが入っています。（「宮北小学校」となる前の「^{ふじさと}藤里小学校」からイメージしたカラーです。）6年生の卒業に間に合って良かったです。



給食の牛乳について ～ストローの提供がなくなる予定です～

これまでは牛乳と一緒に届くストローで飲むようにしてきましたが、地球環境の保全、脱プラスチック化の取組により、来年度4月よりストローの提供がなくなります。それに先立ち、現在提供されている牛乳パックの口は以前よりも開けやすい形状となっており、片方の口を開いて直接飲むことが可能となっています。4月からストローなしで飲むスタイルになることを想定し、今から練習していきたいと考えています。しかし、低学年の児童にとってはパックの開けづらさや飲みづらさが想定できますので、適宜手助けをしながら取り組んでいきたいと思いますが、ご相談がありましたら担任までお知らせください。よろしくお願いします。

